

宇宙葬とは 遺灰を宇宙へ送る葬送

火葬した遺灰のうち**1グラムから7グラム**をカプセルに納め、他のミッションのロケットへ相乗りさせて送る葬送です。種類・費用・申し込みの流れを一次情報で整理します。

ぼくも40年、誰かの荷物と一緒に飛んできたんだ。
宇宙へ行く方法の話は、実はロケットの空き席の話なんだよ。



行き先で分かれる4つの形式と、宇宙に届かない方式

01 **弾道飛行** SUB-ORBITAL
宇宙空間に達したあと、カプセルは記念品として家族のもとへ戻る

往復

02 **地球周回** EARTH ORBIT
最長240年にわたり軌道を周回し、最後は大気圏で燃え尽きる

最長240年

03 **月** LUNA
月周回軌道または月面へ、探査機・着陸機に相乗りして届ける

探査機と運命を共にする

04 **深宇宙** VOYAGER
月をはるかに越えて飛び続ける。回収という選択肢は最初からない

帰還なし

05 **成層圏バルーン** BALLOON
成層圏は地表からおよそ12～50km。カーマンライン100kmには届かない

宇宙空間ではない

費用は行き先と搭載する量で段階的に変わる

国内窓口の公式価格（税込）

66～814 万円

プランごとに為替換算の基準時点が異なる

- 宇宙飛行プラン 1g
66万円。もっとも低い設定
- 月旅行・宇宙探検プラン 7g
814万円。月と深宇宙は同額の設定

価格を決めるのは搭載する重さと行き先までの距離

支えているのは相乗り打ち上げという仕組み

カプセルの搭載形態

二次ペイロード

主目的の衛星や探査機を運んだ余力に載せる副次的な荷物

- 1997年 Founders Flight
二次ペイロードとして24名の遺灰を打ち上げ
- 待機期間
人工衛星プランは前回2023年4月、次回2026年12月頃

空き枠に載るから届く価格。日程はこちらで選べない

日本側の手続きは**火葬**から始まる

STEP 01

火葬

通常どおり行う。ここは一般の葬儀と変わらない



STEP 02

分骨

宇宙へ送る分を分け、残りの扱いを決める



STEP 03

粉状に加工

数グラムをカプセルへ納めるため避けて通れない工程



STEP 04

引き渡し

事業者へ渡し、カプセルへ納めて打ち上げを待つ

約款・費用明細・証明書・延期時の扱いは文書で確認

まとめ | 宇宙葬は宇宙輸送の上に成り立つ葬送

- 01 宇宙へ行くのは遺灰のうち**1~7グラム**。残りの行き先は別に決める
- 02 行き先は弾道飛行・地球周回・月・深宇宙。**高さ**と**最終地点**で分かれる
- 03 国内窓口の税込価格は**66万円から814万円**。重さと距離で段階的に変わる

仕組みから知れば
家族の話し合いも進めやすくなります

誰かを送る便も探査機の便も、
同じロケットの同じ空き席から始まるんだ。

